

2025 年度 事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

【1】 図書館振興助成事業

(1)2025 年度公募・実施概要

選考委員会において下記の 4 分野を対象に助成することを決定した。

- ① 図書館運営に対する助成
- ② これからの図書館のあり方に関する調査・研究およびその実践・実験に対する助成
- ③ 図書館をはじめとする文化・教育資源保有施設が所有するコレクションの活用を推進する事業に対する助成
- ④ 「調べる学習」「読書活動」を推進する学校図書館に対する助成

公募期間： 2024 年 9 月 13 日～10 月 25 日

選考時期： 一次審査 2024 年 12 月 10 日(オンラインにより実施)

二次審査 2025 年 1 月 18 日(対面とオンラインの併用により実施)

助成開始： 2025 年 4 月以降

助成件数および助成金額： 23 件の応募があり、内 8 件に総額 26,372,555 円を助成決定したが、2025 年 3 月に 1 件辞退があったため、7 件に総額 22,372,555 円を助成。

資料 1:2025 年度振興助成 助成先一覧

(2)2026 年度公募・実施概要

2025 年度中に選考委員会において下記の 4 分野を対象に助成することを決定した。

- ① 図書館運営に対する助成
- ② これからの図書館のあり方に関する調査・研究およびその実践・実験に対する助成
- ③ 図書館をはじめとする文化・教育資源保有施設が所有するコレクションの活用を推進する事業に対する助成
- ④ 「調べる学習」「読書活動」の推進に対する助成

公募期間： 2025 年 8 月 22 日～10 月 31 日

選考時期： 一次審査 2025 年 12 月 10 日(オンラインにより実施)

二次審査 2026 年 1 月 14 日(対面とオンラインの併用により実施)

助成開始： 2026 年 4 月以降

助成件数および助成金額： 27 件の応募があり、内 17 件に総額 51,043,841 円を助成決定した。

資料 2:2026 年度振興助成 助成先一覧

(3)2024 年度振興助成の成果報告

機関誌『図書館の学校』において各事業成果を報告した。

(4)助成団体への視察

助成団体による事業公開イベントに事務局長が参加、事業の進捗状況及び成果を確認した。

【2】 図書館利用促進事業

(1)「図書館を使った調べる学習コンクール®」の実施

- ① 図書館の利用促進と調べる学習の普及を目的とする、第 29 回「図書館を使った調べる学習コンクール®」を下記要領にて開催した。

資料 3:図書館を使った調べる学習コンクール®第 29 回結果報告

応募作品数:127,456 作品<2024 年度 123,604 作品>
地域コンクール開催:171 地域コンクール(41 都道府県)
 <2024 年度 167 地域コンクール(41 都道府県)>
地域コンクール開催募集期間:2025 年 4 月 1 日~2025 年 5 月 31 日
全国コンクール実施概要
募集作品:調べる学習部門
 公共図書館や学校図書館を使って調べまとめた作品。テーマは自由
調べる学習指導・支援部門
 図書館を使った調べる学習の指導・支援の実践をまとめた作品
募集部門:調べる学習部門(小学生の部・中学生の部・高校生の部・大人の部・
 子どもと大人の部)
 調べる学習指導・支援部門
募集期間:2025 年 9 月 8 日~10 月 7 日
「地域コンクール」を開催していない地域からの応募作品を図書館振興財団で
受け付けた。
結果発表:2026 年 1 月 14 日 図書館振興財団ホームページ上にて公開
表彰式/懇親会:2026 年 3 月 7 日
会場:上野精養軒(東京都台東区)
 文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性枠組実現日本
 会議」賞、優秀賞、総務大臣賞、図書館を使った調べる学習活動賞を
 受賞した個人・団体を表彰した。
 表彰式は 3 月 18 日より 4 月末まで YouTube にて関係者へ限定
 公開を行い、関係者約 207 名が視聴した。
賞(作品数):文部科学大臣賞(6)、観光庁長官賞(1)、「2030 生物多様性枠
 組実現日本会議」賞(1)、優秀賞(24)、優良賞(141)、奨励賞
 (282)、佳作(1423)
(地域コンクール数): 総務大臣賞(1 団体)、図書館を使った調べる学習活
 動賞(2 団体)
後援団体: 文部科学省/観光庁/環境省/総務省/2030 生物多様性枠組実
 現日本会議/東京都教育委員会/一般財団法人日本児童教育振
 興財団/公益財団法人海外子女教育振興財団/公益財団法人大
 宅壮一文庫/公益社団法人日本図書館協会/公益社団法人読書
 推進運動協議会/日本児童図書出版協会/読売新聞社/活字文
 化推進会議/株式会社毎日新聞社/株式会社日本教育新聞社/
 株式会社教育新聞社/一般社団法人全私学新聞/株式会社教育
 家庭新聞社/NHK
協賛団体: 丸善雄松堂株式会社/株式会社図書館流通センター/カーリル/
 株式会社丸善ジュンク堂書店

②2024 年度(第 28 回)の入賞作品(32 作品、3 団体)を、機関誌『図書館の学校』
および当財団ホームページ等で紹介した。また、文部科学大臣賞、観光庁長官賞、
「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞等を受賞した 8 作品をホームページで全
ページ公開するとともにレプリカを 530 セット作成し、利用申請した個人・団体に無
償で提供した。

③「図書館を使った調べる学習コンクール」を一定地域内で開催する「地域コンクール」を募集し、増やすために関心地域への資料送付や研修用 DVD の貸し出しなどの推進活動を行った。

④「図書館を使った調べる学習コンクール」の主旨と合致する他者の事業を支援する活動を行った。(後援等)

⑤調べる学習指導者による講座・研修等

自治体等の要望に応じ、図書館振興財団講師が各地の講座・研修(29 件)に携わり、調べる学習のさらなる推進を図った。

⑥第 30 回記念事業(実態調査)

「図書館を使った調べる学習コンクール」の実態を調査するため、下記の通り WEB アンケート調査を実施した。

期間:2025 年 12 月 1 日より 2026 年 3 月 31 日まで

対象者及び回答数(非有効回答含む)

・応募者(小学生の部(3 年生以上)、中学生の部、高校生の部):13,843 件／109,038 作品

・指導した教員・司書教諭:505 件／4,577 件(依頼状送付学校数)

・地域コンクール:98 件／171 地域

⑦探究学習・調べる学習ひろば

「図書館を使った調べる学習コンクール」の普及を目的として探究学習の指導者・支援者等との情報交換および関係性を構築をするために教員、学校司書、司書等を対象に探究学習に関するオンライン配信を実施した。(18 回開催)

(2)選書事業

・選書事業実施概要

図書館にふさわしい図書を選書することを目的に、下記 2 分野について各々選書員を設定し、選書を依頼している。

1 公共図書館用新刊選書

2 専門書・学術書選書

選書結果を当財団のホームページにおいて公表。遡及分については検索を可能としている。

(3)友の会「図書館の学校」の運営

当財団の事業への支援を目的に、友の会「図書館の学校」の運営を行った。

2025 年度の新規入会者数は 27 件(個人 24／団体 3)・27 口(前年度:43 件(個人 34／団体 9)・43 口)で、2025 年度の会員数は 624 件(個人 350／団体 274)・921 口(前年度:636 件(個人 362／団体 274)・984 口)となった。

【3】 図書館活性化事業

(1)機関誌発行事業

機関誌『図書館の学校』を、当財団の事業の周知を目的に、事業案内・成果等を掲載すると同時に、図書館利用者に図書館は楽しく役立つ所、といったことを伝えることを目的に編集し、年 4 回発行した。

配布方法：当財団の友の会「図書館の学校」の会員に配布、その他は1号当たり頒価1,000円＋税で提供。

(2)「図書館総合展 2025」への参画

財団活動事業全般の理解を広めるとともに、図書館振興への社会的関心を高める広報活動として、2025年10月22日・23日・24日開催の第27回「図書館総合展 2025」において、ブース出展を行った。

5月24日「図書館総合展フォーラム in 茨木」にブース出展し、またイベントとして「おにクルぶっくぱーくを使った探究学習体験講座」を実施した。

(3)研修事業

研修事業は、研修内容等についての課題を検討する期間とした。

(4)提案型事業

図書館振興に関する提案型助成事業

・公募・実施概要

郷土資料等のデジタル化による新たな図書館サービスの構築を目的に、株式会社図書館流通センターからの寄付金約1億円を基金として、提案型助成事業として公募を行い、財団における審査を経て下記の2分野を対象に助成を実施した。

①「郷土(地域)資料」「貴重資料等」のデジタル化に伴うデジタルデータの公開事業

② 上記①のデジタルデータの利活用事業

公募期間：2025年6月16日～10月22日

選考時期：一次審査 2025年11月26日(オンラインにより実施)

二次審査・最終審査 2025年12月17日(対面とオンラインの併用により実施)

助成開始：2026年1月以降

助成件数および助成金額：21件の応募があり、内13件に

総額100,000,000円を助成。

資料4：2025年度提案型助成事業 助成先一覧

【4】不動産の貸付に関する事業

公益目的事業の推進に資するために行う不動産の貸付に関する事業を実施した。

【5】ガバナンスに対する取組状況

(1)外部理事・監事について

法人運営の透明性と客観性を高めるため、理事の過半数が外部有識者で構成されています。独立した外部の視点を組織運営に反映させることで、利益相反の防止や公正かつ健全な法人運営に努めています。

また、法人運営の透明性向上とチェック機能の強化を目的に、当法人の事業分野に依存しない外部有識者として、現在は弁護士1名、税理士1名を外部監事として選任しております。

(2)「図書館を使った調べる学習コンクール」

図書館の振興により国民の教育・文化の発展に寄与することを目的として、生涯学習の学習方法として有効な「図書館を使った調べる学習コンクール」を全国に広めることを事業としており、発足以来(コロナ過を除き)地域コンクール参加自治体数は毎年増加しており、応募者数も毎年増加しています。

「図書館を使った調べる学習コンクール」における潜在的な課題の有無や、図書館の利用実態を明らかにするために、応募者等へのアンケート調査を実施しました。

現在、回収したデータは集計・分析を行っており、得られた意見や課題については、今後の事業運営に反映させるべく検討を進めています。

(3)助成事業の目録贈呈

助成事業において、社会的な透明性の確保と事業の公明性を高める目的から、選考された助成団体へ目録贈呈行いました。

目録贈呈を通じて、助成金が適正かつ確実に交付されたことを広く示すとともに、助成団体との対話を通じて、支援趣旨の再確認と適正な資金使途の利用を促しています。

以上

2025 年度事業報告 附属明細書

2025 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。